

公益社団法人新潟県栄養士会 2024 年度第 1 回理事会 議事録

1 日 時

2024 年 5 月 9 日（木） 18 時から 20 時まで

2 開催場所

Zoom 開催及び新潟県栄養士会事務局 108 号室

3 理事の出欠について

折居 千恵子	○	石澤 幸江	○	渡邊 修子	○	柄沢 弘子	○	北林 紘	○
鈴木 敏美	○	長谷川 美代	○	山田 祥子	○	近藤さつき	○	久志田 順子	○
星野 侑子	×	熊倉 利江	×	津軽 智子	○	青木 章子	○	佐藤 峰生	○
村山 真由美	○	榊谷 友美	○	本間 信子	×	小川 佳子	○	山川 琴栄	○
江口 公子	○	小林 昌子	○	久保 尚子	×	渡辺絵里子	○	村山 稔子	○

4 その他関係者の出席

稲村 雪子 (顧問)	○	入山 八江 (顧問)	○	角谷ヒロ子 (監事)	○	大平真由美 (監事)	○	藤澤 恵子 (佐渡支部)	○
丸山 朝美 (学校健康教育 事業部)	○	阿部 幸子 (事務局長)	○						

5 開会

折居会長挨拶

6 理事数に対する出席理事の数

25 名中 21 名出席 本日の理事会は定足数を満たしている

7 議長選出

○理事会運営規則第 6 条第 1 項に則り、理事会の議長は会長が務める。

8 議事

(1) 協議事項

①2023 年度事業報告について (資料 1 : 1~12 ページ)

○柄沢専務理事より説明があった。

2023年度は4つの基本方針に沿って事業展開を行った。

1. 高齢者対策

- ・県の補助事業である「在宅医療（栄養）推進事業」では在宅療養者等の疾病の重症化予防、QOLの維持・向上のための「誤嚥防止」や「よりよく食べる」ことを主軸におき、多職種と協働し、その仕組づくりに取り組んだ。
- ・新潟県後期高齢者医療広域連合や長岡の委託事業では、フレイル予防、糖尿病性腎症の重症化予防対策に向けて、個別栄養指導を行い栄養改善に努めた。
- ・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会の構成団体として、地域ケア個別会議で助言者として参画し、個別の事例について適切かつ専門的な助言を行った。

2. 生活習慣病の発症・重症化予防

公益1の事業では、健康づくり啓発事業である講演会やセミナー、イベント等を他団体と協働で行い、県民の健康づくりに寄与した。

3. 災害支援対策

- ・JDA-DATリーダー育成研修及びスキルアップ研修会に3名が参加した。
- ・初のJDA-DATスタッフ養成研修会を開催し、28名がJDA-DATスタッフとして登録された。
- ・能登半島地震の支援活動として、全5回、新潟県JDA-DATリーダー8名を派遣した。
- ・新潟県主催の防災訓練に参加し、地域における防災時の支援活動の重要性を学んだ。

4. 会員減少傾向の中での会の運営

- ・県栄の事務所内でのペーパーレス化やICTを活用し、会議は可能な限り、Zoomを使用してもらい、会場費や旅費の節約を図った。
- それにより、Zoomによる役員会、打ち合わせ会議の定着や生涯教育研修会、他研修会のオンデマンド配信が定着し、会場の準備や移動時間の短縮に繋がった。
- ・情報発信においては、メールやホームページ、Instagramを活用し、経費削減に努めた。

公益1、公益2の事業については総会資料P2～5を参照。

公益1の事業として公衆衛生、健康づくり、食育事業及び栄養相談、指導等を行ってきた。

公益2の事業は学術技術の振興、普及活動の事業について。P5～9に記載されている。

9ページ災害支援対策の詳細については今年度力を入れてきた事業について記載している。

その他の共益的事業については資料9ページ、主にホームページの充実について行ってきた。

9ページから12ページは会の運営に関する活動、県栄総会、理事会、事業部役員会、多職種他団体の委員会、協議会について掲載している。

意見、質問

小川理事：災害支援対策の記載について「県主催の防災訓練」とあるが県と担当市町村との主催なので、「県・関川村主催」が適切。「防災訓練」という名称は「総合防災訓練」という名称に訂正してほしい。次年度の計画も「県主催」を「県・南魚沼市主催」にお願いしたい。

阿部事務局長：訂正いたします。

佐藤理事：魚沼支部P7活動報告、8月5日の他に11月も行っているので追加していただきたい。

阿部事務局長：確認する。

山川理事：9ページホームページが充実していると説明があったが、今回の理事会で支部長、職域事

業部長が出席されているのであらためてお願いしたい。各支部職域、計画は載っているが報告されていないところはHP委員と連携し報告を更新していただきたい。

○2022年度事業報告の総会への提案について承認された。

②2023年度収支決算報告（案）について（資料1：13～27ページ）

○阿部事務局長が説明した。

2023年度全収入 34,361,290円、実績費 33,016,539円 差額 1,344,751円の黒字決算となった。

正味財産増減計算書内訳表（15～16ページ）より公益目的事業会計の条件として収支相償については経常収益 26,576,250円よりも経常費用 28,095,750円が 1,519,500円上回っており条件は満たしている。

また全計上費用 33,016,539円のうち公益経常費用 28,095,750円の割合は条件の50%を超えて85.1%となり条件は満たされている。

2023年事業別予算実績比較一覧表（17～18ページ）より考察する。

公益1事業について

収入は委託事業である、事業コード018の在宅訪問栄養食事指導の委託料が予算よりも、358,336円少なく、事業コード071長岡市のCKD委託事業費が700,000円ほど予算より多かった。

結果的に公益1事業収入予算よりも2,000,000円近く少なかった。

支出は各事業予算計上より実績額は少なかったため、差額が大きなマイナスとならずに済んだ。

公益2事業

概ね予算計上に沿った収支であった。

但し職域事業部の研修については受講料収入が予算計上を多く下回っている。

このことは研修参加者が少ないということより、今後の検討課題と思われる。

収益事業

2023年度機関紙の発行を予算計上していたが、5月発刊になったため、収入（広告料）、支出574,000円が執行されなかった。

法人会計については

会費収入が予定の1250名が1174名の-76名（874,000円）予算より下回った。

経費が予算より下回った。

総会 -110,000円（縮小開催のため）

三役・常任理事会・理事会 -100,000円（Web会議の拡大）

支部・職域・業務執行部役員会 -380,000円

○会務監査報告を大平監事が行った。

2024年4月16日、新潟県栄養士会事務局において監事角谷、大平が折居会長、柄沢専務理事、阿部事務局長立ち合いのもと、2023年度の会務監査を行った。

監査において、事業報告及び会計書類の確認を行った。

特に問題は認められず、関係書類は適正に処理されていたことを報告する。

○2023 年度収支決算報告（案）の総会への提案について承認された。

(2) 報告事項

①第 5 号議案 2024・2025 年度役員改選について

○入山役員選考委員長より報告があった。

2024 年度、役員選考規定にのっとり、立候補、推薦によって選出して頂いた。

資料 41 ページに記載されているように全員出そろった。

この中から代表理事、会長、副会長、専務理事、総会において選任する。

②第 6 号議案 2024・2025 年度日本栄養士会定時総会代議員について

○柄沢専務理事より説明があった。

公益社団法人日本栄養士会代議員の任期満了に伴い、2024 年 1 月 15 日付日栄発第 23-601 号にて標記代議員選出依頼が届き、会員に周知を行った。期限までに立候補がなかったので、代議員を理事候補者等より選出することを提案する。

なお、代議員の任期は 2026 年度定時総会で次期代議員が選出されるまでの 2 年間となる。

代議員候補は

代議員候補	村 山 稔 子	(理事候補者)
代議員候補	高 橋 洋 平	(理事候補者)
代議員候補	山 田 祥 子	(理事候補者)
代議員候補	角 谷 ヒロ子	(監 事)
代議員候補	大 平 真由美	(監 事)
代議員候補	折 居 千恵子	(日本栄養士連盟新潟県支部長候補者)
補欠候補	斎 藤 トシ子	(理事候補者)

なお斎藤トシ子氏の補欠候補については 6 月 22 日日本栄養定時総会終了までは日本栄養士会副会長であるため兼務は不可であるということで補欠となった。

③2024 年度定時総会について

○柄沢専務より説明があった。

定時総会スケジュール

開催日 6 月 15 日 (土) 新潟テルサ 大会議室

10:00~11:00 在宅医療(栄養)推進事業 支部事業説明会(現支部長、新支部長候補、代表理事候補者)

11:00~11:30 地域栄養ケア担当者説明会(新支部長候補、地域ケア担当者)

11:30~12:30 受付開始 賛助会員による展示室開設 7 社

12:30~ 総会開会

12:30~13:20 定時総会

第 5 号議案役員改選が承認されたら、第 2 回理事会を開催。新理事は会場の外にて代表理事(会長、副会長、専務理事)の選出を行う。

- 13：20～13：30 日本栄養士会連盟新潟支部 総会結果報告
- 13：30～13：35 展示協力賛助会員様のご紹介
- 13：35～13：55 休憩 (展示再開)
- 13：55～14：25 式典
 開会あいさつ
 優良会員表彰
 祝電披露
- 14：35～14：50 能登半島地震支援の報告 JDA-DAT リーダー 清田 優理香氏
- 15：00～16：30 特別講演 「人生 100 年時代 100 歳まで美味しく食べる秘訣
 ～管理栄養士に期待すること」
 新潟大学歯学部 学部長 井上 誠先生
- 16：30 閉会

- 総会案内出欠確認 総会資料 委任状 新役員信任投票用紙を 5 月 20 日会員へ郵送予定。
- 新役員信任投票用紙は全会員に返送してもらう。
- 発言通告書は担当に回答をお願いし、ホームページにアップする。
- 総合司会 寺尾幸子
- 議長 磯部澄枝 (魚沼支部)
- 議事録署名人 澤口聡子・阿部幸 (三条支部)
- 総会の議長と議事録署名人は支部の持ち回りでお願いしている。
- 総会および特別講演会には多くの会員に出席していただきたい。理事の皆様から職場や知人への声掛けをぜひお願いしたい。
- また、会員増のため、能登半島地震支援の報告と特別講演は無料で学生の希望者もホームページで受け付ける予定である。

意見、質問

榭谷理事：在宅推進事業の説明会は新旧の参加者となっているが、嚙下調整一覧の説明、2024 年の事業の説明であるかと思われるが、新理事候補だけでよいかと思うが。

久志田 CS 部長：引継ぎの機会を設けたかったことと、総会までは現支部長が担当であるため、今年度のまとめを聞いていただきたく、総会后新支部長候補の方にはこれからの取組について共通の理解をいただきたく新旧お集まりいただきたい。

江口理事：総会の午前中に Zoom 説明会を行うと聞いていたが、いつするか。

阿部事務局長：当初の予定では Zoom 説明会を行う予定であったが、この日、新旧集まるため基金事業、地域ケア担当の説明を優先した。Zoom 説明会は 7 月理事会に行く。
 またそれまでに現支部長、職域事業部長には十分引継ぎをお願いしたい。

④会員数について

○阿部事務局長が説明した。

会員数の推移をグラフに示す。2019 年度より毎年 40～45 名ずつ会員が減少している。

ということは毎年会費収入が約 50 万円ずつ減額されているということになる。

日栄会員数も全体的に減少しているマイナス 664 名である。

今後会員増対策であるのか、会員減の食い止め対策であるのか、いずれにせよ早急な対応が必要になってくると感じている。

退会理由を資料に示す。入会 3～5 年での退会者が多いこと、30 代が多く退会されていることが分かる。退会理由としては退職、栄養士業務から離れたが多いが、気になることはメリットがないことである。

質問、意見

北林理事：報告事項の集計の仕方ですが、できればクロス集計として、会員歴を縦におき、退会理由を横において、どの年代がどの理由なのか、どの会員歴がどの理由なのかが分かると検討しやすいと思う。生データがあれば私が集計してもよい。

阿部事務局長：日栄の業務支援よりデータを取ってきているの、クロス集計ができないと思われる。

1つ1つ集計をするのは難しいと思われるが、確認してほしい。

北林理事：エクセルデータであれば可能と思われる。

阿部事務局長：是非ほしい。

折居会長：会員減はなるべく食い止めたいと考えている。以前より話のでていた学生のうちから何らかのアクションを起こせたらという部分が 2023 年度では進められなかった。次期理事にお願いして進めて頂きたいと考えている。

問題は若者層なのか、それより上の年代なのか、入会のメリットが感じられないということが気になるところだ。

現実的にメリットとはどういうところをさして言っているのかわからない。

十分な生涯教育を行い、職域部会を計画し、いろいろなことをやっているつもりだがこれ以上のメリットがつかめない状況だ。引き続き今後も検討課題として取り組んでいきたい。

(3) その他の提案事項

叙勲関係、厚生労働大臣賞、県知事表彰、その他表彰に関する推薦について

○阿部事務局長が説明した。

4～6 月にかけて日栄、県、市より表彰関係の推薦依頼がくる。

現在これらの表彰に対して会として推薦を行う場合の基準及び推薦を行う委員会がない。

これは受賞漏れの可能性もあり、厳選なものとならないのではないかと。

今後新潟県栄養士会において表彰に関して推薦を行う推薦委員会(仮称)の設置をお願いしたい。

質問、意見

榎谷理事：支部長なった時に保健所から受賞推薦依頼のメールが届いていた。

今後はこのような依頼がきたら、県栄送ればよいのか。

阿部事務局長：そのような依頼が来ていたことを知らなかった。支部だけで決めることはできないので対象者がいるようなら県栄に教えて頂きたい。

いずれにせよそれらも含めてきちんと決めていきたいと考える。

その他

小川理事：前理事会で特定費用準備資金について説明を受けたが、今回の総会資料 2024 年の事業実

施計画の案に載っていない。事業ではないかもしれないが予算として上がっていて、いろいろな事業で積み立てをしていくということを一般会員に説明した方が良いのではないか。総会ではどのような説明をされるのか。

阿部事務局長：特定費用準備資金の活用は2024年度はケアステーション拡大事業と、80周年事業準備委員会の2つが始まる。災害支援準備金は災害が起きて支援に行くときの準備金なので災害が起きない事には発生しない。

総会では事業計画として新たな事業として説明したい。支出についても税理士と相談して説明していきたい。

佐藤理事：新旧の役員会が行われるが、承認された事業計画・予算書をいただいているか。いついただけるか。

阿部事務局長：事業計画、予算書、昨年度の事業報告、実績報告は来週お送りする。

青木理事：在宅医療推進事業、地域栄養ケア担当者の説明を役員には行っているが、一般会員にはなかなか伝わらないので、総会などで説明していただきたい。

久志田理事：本来ならば会員に周知して会員全体でこの事業を取り組んでもらうことが筋を考えるが、昨年度から取組方法が変わり、昨年度は支部でやっていただく事業が11・12月頃から始まり支部長中心に支部の中で活動してもらい医療、福祉の代表者を選出してもらうことでとどまっていた。

今年度本格的な動きとなる。総会で時間があれば説明したい。

9 議事終了あいさつ（渡邊副会長）

上記の議事録に相違ないことを証するため、記名、押印する。

2024年5月20日

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席監事 印

出席監事 印

議事録作成者 事務局長 阿部 幸子